

【第5回 蒲田西プラットフォーム開催内容】

◆開催日:5月14日(金)18時~19時 15分

◆場所:社会福祉センター 会議室

◆参加者:30名

地域関係者、介護事業者、障害者福祉事業者、東京工科大学、シニアクラブ、民生委員児童委員、社会福祉法人、NPO 法人、(株)JCOM、民間企業、大田区役所職員等。



《プラットフォームの風景》
感染対策も万全！

◆内容:

①参加者から地域での活動紹介

・JCOM

・東急ストア

(1)地域・日々の活動への思い

(2)地域活動の取組みの紹介

②グループワーク形式(6グループ)の話し合い

【テーマ:コロナ禍で見えづらくなっている地域の『今』を知り合いましょう】

(1) ひとり親家庭等の生活に困窮する子育て世帯の様子 ~こども食堂・だんだんの近藤さん~

●困窮する子育て世帯へ、地域でできることを考えてみましょう。

・コロナ禍で、イベントはできないが、ちょっとゴミ出しのときに挨拶することなどから始まり、話ができるようになるなど、手の届く範囲のところを見渡してみることが大切だと思います。

・コロナだからこそ近くのところに目を向けてみて、その地域の中で何かできるか考えることが必要。

・子どもの登校時に見守りをを行っている。交通の見守りだけではなく、子供たちに声をかけているので、その中で、心配な子どもを見つける事もできるかと。

◆アンケート結果:参加満足度:87%

■主な参加者の声:

・話題を決めて話し合いをした事によって盛り上がり、話の内容もわかりやすかったように思います。

・蒲田について、その地域について、様々な方から実りある話を聞かせて頂きました。活動への周知させるために、何をしなければならないのか考えるきっかけになったため。

・自分のことを話した時に否定をされず、最後まで聞いてくれるという環境は安心して話すことができるので話をするのが苦手な私としてはうれしかったです。

・近いエリアの中で、それぞれの立場から色々な視点での意見交換ができた事が良かった。何か生み出していきたい。

・パーティションなど用意されていて少し安心して参加できましたデスクごとに消毒もあると良かったかと思えます。マイクの声が届きにくく、聞こえない場面がありました。

◆次回 7月16日(金) 18時~ 社会福祉センタービル4階